

富井政章 とみい まさあき 法學者、法學博士。安政五年九月十日京都生れ、昭和十年九月十四日没（一八六一—一九三二）。明治民法の起草者として有名。東京外國語學校を經てフランス留學。歸朝後東京帝國大學教授、のち帝國大學法科大学學長、貴族院議員、京大法政學校初代校長、樞密院副官その他、立命館大學學長、帝國學士院第一部長、日博會館副理事長等歴任。フランス大法の出身ながらドイツ法の祖と稱せらる。對ロシヤ強硬論と博士の一人。

『富井男爵経緯傳』(杉山直治郎編、昭和十一年八月二十一日博會館)より。